

# さんかくカレッジ専門コース 全6回連続講座

## 2026年度 受講生募集



### 今年度のテーマ

## 日本のジェンダー課題の現在地 ～これまでを学び、今を知り、これからを考える～

第1回  
9月27日(日)  
13:30 - 15:30

第2回  
10月17日(土)  
13:30 - 15:30

第3回  
11月7日(土)  
13:30 - 15:30

第4回  
11月14日(土)  
13:30 - 15:30

第5回  
11月28日(土)  
13:30 - 15:30

第6回  
12月12日(土)  
13:30 - 15:30

#### 講座期間

令和8年9月27日(日)～令和8年12月12日(土)  
全6回の連続講座です。ご希望の講座を選んで受講できます。  
\*各回の詳しい内容については、次ページ以降をご覧ください。

#### 受講料

無料

#### 応募資格

内容に関心のある方。

#### 募集定員

30名程度(各回)

#### 申込方法

受講申込書に必要事項を記入し、  
郵送、FAX、E-mail、持参もしくは、  
右の「受講申込二次元コード」から  
「さんかく岡山」へお申し込みください。



受講申込二次元コード

## 日本のジェンダー課題の現在地 ～これまでを学び、今を知り、これからを考える～

全6回  
受講料  
無料

1945年女性への参政権付与、1946年日本国憲法公布、1947年民法改正と女性の地位向上に向けてさまざまな取り組みが行われてきました。

そして、1999年に男女共同参画社会基本法が施行されてからすでに27年。

しかし、2024年に話題となったドラマ「虎に翼」で描かれた理不尽かつ不合理な差別は、過去のものとなっているのでしょうか。すべて「昭和」の話と片付けてしまっているのでしょうか。身近な人との関係性や経済、政治、教育の問題に至るまで、広い視野からジェンダー平等の歴史や今日の課題について学び直し、世界の現状に目を向けながら、めざすべき男女共同参画社会のあり方について、参加者みんなで一緒に考えていきましょう!!

### 1. 開講式、ジェンダー平等の現在地

日時 9月27日(日)13時30分～15時30分

講師 関西学院大学 社会学部 教授 中谷 文美さん



ジェンダー平等の達成は、どのように測ることができるのでしょうか？世界の中での日本の位置を教えてくれるジェンダーギャップ指数も万能ではありません。もちろん日本の中でもさまざまな変化がありました。そして今、私たちを取り巻く状況をどのように受けとめ、どのように変えていく可能性があるのでしょうか。映画や小説などに描かれるジェンダー課題も振り返りつつ、改めてジェンダー平等について考えていきましょう。

### 2. 経済分野のジェンダー課題

日時 10月17日(土)13時30分～15時30分

講師 岡山大学学術研究院 共通教育・グローバル領域  
(グローバル人材(GDP)) 教授 山本 由美子さん



労働・税・社会保障などの制度のもとで、多くの女性が非正規雇用として働いています。また、世帯間や男女間には所得をはじめとするさまざまな格差がみられます。働き方・家計・制度から、私たちの暮らしや社会のしくみについて一緒に考えましょう。

### 3. 政治・意思決定分野のジェンダー課題

日時 11月7日(土)13時30分～15時30分

講師 岡山大学学術研究院 共通教育・グローバル領域  
(グローバル人材(GDP)) 准教授 大澤 貴美子さん



政治・意思決定の場では、女性の参画が男性に比べて少ない状況が続いています。女性が少ないことはなぜ問題とされるのか、政治が私たちの暮らしと切り離せないものであることをふまえながら、多様な声が反映される意思決定のあり方について考えていきましょう。



## 講師のご紹介

～ご参加お待ちしております～

### ●第1・6回 中谷 文美(なかに・あやみ)さん

関西学院大学 社会学部 教授

オックスフォード大学大学院博士課程修了(D.Phil.)。日本学術会議連携会員。専門は文化人類学、ジェンダー論。2024年4月まで28年にわたって岡山大学文学部にて教鞭を取った。近年は、オランダの高齢者ケアと安楽死、インドネシアでの身近な植物による生活用具の製作などをテーマにした研究を進めている。主著に『オランダ流ワーク・ライフ・バランス』(世界思想社,2015年)、『「女の仕事」のエスノグラフィ』(世界思想社数学社,2003年)、編著に『仕事の人類学』(世界思想社,2016年)、“Fashionable Traditions: Asian Handmade Textiles in Motion”(Lexington Books, 2020年)など。

### ●第2回 山本 由美子(やまもと・ゆみこ)さん

岡山大学学術研究院 共通教育・グローバル領域  
(グローバル人材(GDP)) 教授

愛知県出身。2018年より岡山大学に勤務。現在、グローバル・ディスカバリー・プログラムにてEconomics(経済学)を担当。2025年より倉敷市男女共同参画審議会委員。共著書に『フェミニスト経済学: 経済社会をジェンダーでとらえる(有斐閣, 2023年)』、共訳書に『フェミニスト経済学ハンドブック(法政大学出版局, 2026年)』。

### ●第3回 大澤 貴美子(おおさわ・きみこ)さん

岡山大学学術研究院 共通教育・グローバル領域  
(グローバル人材(GDP)) 准教授

ウィスコンシン大学マディソン校博士課程修了(Ph.D.)。延世大学East Asia International College(韓国、Assistant Professor)を経て2017年より現職。専門はジェンダーと政治。ジェンダーをめぐる認識や規範が、政治過程にどのような影響を及ぼすのかを研究している。近年の論文に「日本の保守政権下における女性の実質的代表—女性活躍推進法案をめぐる国会審議をケースとして」(『Analyses & Alternatives』, 2021年)などがある。

### ●第4回 河野 銀子(かわの・ぎんこ)さん

九州大学 男女共同参画推進室 教授

徳島県生まれ。大学、大学院時代を東京で過ごし、1996年に山形大学に講師として着任、2014年より教授。理事補佐として男女共同参画推進にも従事。この間、山形県をはじめ自治体の各種委員や男女共同参画研修の講師を務めた。国の第5次男女共同参画基本計画策定にも関わった。2023年10月より現職。専門は教育社会学、ジェンダーと科学技術。主な論文に、「女子高校生の「文」「理」選択の実態と課題」(科学技術論学会, 2009年)、主著に『女性研究者支援政策の国際比較』(明石書店, 2012年)、共編著に『教育社会とジェンダー』(学文社, 2018年)。

### ●第5回 濱田 智崇(はまだ・ともたか)さん

京都橘大学 総合心理学部 総合心理学科 准教授

1995年、京都大学教育学部在学中に日本初の男性専用相談『男』悩みのホットラインを開設。2011年、男性専用のカウンセリングオフィス天満橋を開設。内閣府DV相談プラス事業における相談支援の分析に係る調査研究事業検討会委員などを歴任。男性相談の相談員養成やスーパーヴィジョン、男性向け講座の講師など多数。共著書として、「男性は何をどう悩むのか—男性専用相談窓口から見る心理と支援」(ミネルヴァ書房, 2018年)、「子別れのための子育て」(平凡社, 2012年)、「暴力の発生と連鎖」(人文書院, 2008年)等

※令和8年度「さんかくカレッジ専門」コースは、  
関西学院大学社会学部 教授 中谷文美さんの監修のもと、企画運営しております。

## 申込・問い合わせ先

岡山市男女共同参画社会推進センター  
「さんかく岡山」

〒700-0822

岡山市北区表町三丁目14番1  
アークスクエア表町2階 201号

電話 086-803-3355

FAX 086-803-3344

E-mail [sankaku@city.okayama.jp](mailto:sankaku@city.okayama.jp)

